

県高P連広報

発行所
新潟県高等学校
PTA連合会
新潟市中央区新光町10-3
技術士センタービルII-701
TEL (025) 384-8244
FAX (025) 384-8288
印刷所
株小林印刷所



システム×デザイン思考で 未来を開け

新潟県高等学校PTA連合会

副会長 磯田 一裕
(高田商業高等学校PTA会長)

SDGsとは二〇一五年の国連サミットにおいて加盟国の全会一致で採択された環境・経済・社会に関する問題を統合的に解決する「持続可能な開発目標」の事ですが、現代社会において物事の善悪や一元的な因果関係でのイシューはほとんどなく、さまざまな要因が複雑に絡み合っているのが現状で、その課題解決に向けた世界共通の目標がSDGsです。しかし、これらの課題を解決するには今までの価値観や手法、そして経済至上主義的な行政的思考の延長線上での取り組みでは難しいと思います。既成概念を乗り越え、縦割社会の弊害を打ち破る事、さらには現代に生きる私たちの思考も今までの固定概念から離れて、新しい発想と行動で世の中を変えていく事が求められており「システム×デザイン思考」でイノベーションを起こしていくことが必要ではないでしょうか。社会の課題や

人々のニーズの本質をとらえ、システム思考(論理的数学的思考≠左脳思考)とデザイン思考(創造的直感的思考≠右脳思考)の両方の考え方で解決策を考える事こそ、これからの時代を生きていく子供たちに必要なスキルだと思っております。SNSの発達により世界中のありとあらゆる情報が瞬時に手に入る現代ですが、何か絵空事のように現実に起きている事も他人事と感じてしまう状況の中で、私たちは「システム×デザイン思考」のプロセスから物事を自分事としてとらえ、そこから生み出された新しい社会システムや空間づくり、プロダクトデザインなどの社会を変えるデザインが「美と共感」によって多くの人々の心に訴え、一緒に行動を起こしたり、人々の幸せや、より良い社会にしていく為のムーブメントにつながるって行く事を切に望み、自ら実践していきたいと思えます。

感謝

燕中等教育学校保護者
深海 奈々子

新潟県高等学校弁論大会の授賞式後、「私もあのトロフィーもらいたい」と先輩の背中を追っていた高校一年の秋。「最優秀賞取ったよ」と夢に見たトロフィーを携帯に送ってくれた高校二年の秋。そして高校三年の夏、「第四十六回全国高等学校総合文化祭とうきょう総文2022」に新潟県代表として出場し「優良賞」を受賞した娘に、今まで見たことのないような新しい景色を見せてもらいました。



それから、努力の結果が必ずしも実らない現実の辛さを幾度となく経験し、「自分の努力は無意味なのではないか」とさえ感じた事もあったでしょう。しかしそれでもなお、自分を信じて決して負けない心で挑んだ成果が今回このような名誉ある賞に結び付いたのだと感じています。

これから先訪れる数多くの試練に、きつと乗り越えていくだろう我が家の頑張り屋さんを「雲外蒼天」を信じて、これからもずっと応援していきたいと思えます。

「努力は必ず報われる」と信じていた小学生の頃、我が子は様々な事に挑戦するとても頑張り屋さんな娘でした。ただ

ラグビーで育む「人間力」

新発田高校ラグビー部保護者会
藤原 隆彦

新発田高校ラグビー部は、今年で創部七十五年目を迎える伝統あるチームです。これまで平成十五年の全国大会(通称花園)出場をはじめ、七人制ラグビーでも全国大会に出場するなど、数々の実績をあげてきました。



今年度のラグビー部の活動において、大きな変革がありました。それは、従来の部活動と地域部活動を組み合わせたシステムを導入したことです。地域部活動では、主に休

最後に娘の憧れの存在となってくださった先輩、そして娘の指導に忙しい時間を惜しみなく費やしてくださった先生に心より感謝申し上げます。

日や祝日に新潟県ラグビー協会から派遣された指導者で活動し、近隣の新発田南高校・村上高校の皆さんとともに大人数で汗を流しています。大雑把なイメージですが、地域部活動では多様な仲間や指導者の方々との関わりの中で知識や技能を身に付け、コミュニケーションなど人間力の幅を広げるとともに、各高校で行う部活動ではチームの独自性を出しつつそれらをより深めていく、といった形でしょうか。なお、地域部活動については、新潟県のモデル事業に指定され、サポートしていただいています。

ラグビーを通じて子どもたちが多様性を身につけ、たくましく成長してくれることを願っています。最後に、日頃よりご指導とご支援をいただいております先生方、県ラグビー協会、後援会の皆様にご感謝申し上げます。

地区研修会

新潟地区

新潟南高校

PTA会長 梅山 修

新潟地区高等学校PTA指導者研修会は、十一月二十九日(火)新潟東映ホテルにて開催されました。当日は四十人の皆さんから参加をいただきました。始めに県高等学校PTA連合会、椎谷周平会長より今年度の活動概要と全国大会・北信越大会の報告があり、令和五年度北信越高等学校PTA連合会新潟大会の概要などについて説明がありました。また令和五年度からのPTA安全互助会費の値上げについて説明がありました。
研修会では県教育庁生徒指導課いじめ対策室長の石山崇様からいじめや自殺から子供たちを徹底して守り通すためには、学校と保護者とが連携して対応する



ことが欠かせないことについてご講演いただきました。
続いて株式会社アルビレックス新潟取締役の小山直久様より「枠から飛び越える発想」対話と創造性でチームをつくる」と題し、ご講演いただきました。対話をしながら、逆転の発想をし、創造性を発揮することで奇跡を成し遂げることができる。ご自身のチームづくりの経験から、奇跡を起こす仕掛けづくりや、夢や信念をもって組織づくりを行うことの大切さについてお話をいただきました。
これからもお互いに情報交換をしながら子供たちのためにPTA活動に取り組んでいきたいと考える有意義な研修会となりました。

新発田・村上地区

西新発田高校

後援会長 板倉 久徳



下越北地区高等学校PTA指導者研修会が、十一月二十一日(月)、新発田市カルチャーセンターを会場に、約四十名の方々にご参加いただきました。
研修会では、県高P連活動報告と下越北地区高P連の書面審議を行った後、新潟お笑い集団NAMARの森下英矢

様から「家庭と地域で引き出す無限の可能性」発達障がい児子育て体験記」と題して、発達障害をお持ちの息子さんの子育て体験談を、笑いを交えて講演していただきました。休憩後、新潟県教育庁生徒指導課いじめ対策室副参事の清水謙一様より「学校と保護者が連携したいいじめ対策・自殺予防について」と題して、新潟県や全国の事例をもとに、ご講演をいただきました。自殺の原因は一つではない。大切な子どもたちの命を守るためにも、学校と保護者の連携が大切ということを確認しました。最後に、各校より活動報告をしていただき、様々な取り組みをお聞きすることができました。コロナ禍の中、各校からお集まりいただき、有意義な研修会を開催できたことに感謝いたします。

巻地区

吉田高校

PTA会長 中野 友美

巻地区高等学校PTA研修会は十一月二十九日(火)に巻ふれあい福祉センターを会場に四校から三四名の皆様方にご参加をいただきました。
研修会では県教育庁生徒指導課指導主事の土田謙吾様から「学校と保護者が連携したいいじめ対策・自殺予



防について」をテーマに本県の実情を踏まえながらご講話をいただきました。研修会の後半では、新潟県金融広報委員会・金融広報アドバイザーの江花史郎様から「家庭でできる金融教育」をテーマにご講演いただきました。お金に関する話題を非常にわかりやすくお話ししていただき、ユーモアに溢れた講演でした。これからの時代を生きていくために、改めてお金の大切さを学ぶとよい研修となりました。
新型コロナウイルス感染症対策のために教育懇談会は昨年に引き続き中止となりましたが、各校のPTA活動の情報などを共有することができ、非常に有意義な研修会となりました。ご参加いただきました各校、PTA役員の皆様をはじめ会員の皆様、ご協力いただきました教職員の皆様、感謝申し上げます。

新津地区

阿賀黎明高校

PTA会長 加藤 達也

新津地区高等学校PTA研修会が、十一月十日(木)五泉市村松公民館にて、七校二十三名が参加して開催されました。
はじめに、県高P連理事で新津高校親師会長の田中義信様からご挨拶をいただきました。その後、県教育庁生徒指導課いじめ対策室長の石山崇様より「学校と保護者が連携した いじめ対策・自殺予防について」と題したご講話をいただき、いじめの定義や学校との連携の重要性などについて認識を深めることができました。



はじめに、県高P連理事で新津高校親師会長の田中義信様からご挨拶をいただきました。その後、県教育庁生徒指導課いじめ対策室長の石山崇様より「学校と保護者が連携した いじめ対策・自殺予防について」と題したご講話をいただき、いじめの定義や学校との連携の重要性などについて認識を深めることができました。
研究協議では、「withコロナ」における各校のPTA活動の取組につい

て、5グループに分かれて協議をしました。各高ともコロナ対策を行いながらの活動に苦慮しているものの、知恵を出しながら講演会やPTA総会などを実施できるように取り組んでいます。
発表され、とても参考になりました。講演会では、一般社団法人アスバシの代表理事の毛受芳高様より「高校生と街が輝くキャリア教育の創り方」をテーマに大変有意義なご講話をいただきました。
ご参加下さいました皆様に感謝申し上げます。

長岡地区 長岡向陵高校

PTA会長 小林 薫

十一月十日(木)アトリウム長岡にて、長岡地区PTA指導者研修会を開催いたしました。

県高P連副会長の西澤敬介様からのご挨拶と安全互助会の会費改定についてのご説明を皮切りに、地区高P連幹事の土田直久様から全国高P連大会のご報告をいただきました。

続いて、県教育庁生徒指導課いじめ対策室副参事の清水謙一様より、県のいじめ防止対策についての取組、国のいじめに対しての定義等のご説明をいただきました。休憩を挿み上越市出身の元プロ野球審判員山崎夏生様より「一途一心の野球道



魚沼地区 堀之内高校

PTA会長 星 陽子

魚沼地区高等学校PTA研修会は十一月十八日(金)、魚沼市中央公民館にて開催されました。

はじめに、県高P連理事で小千谷高等学校PTA会長の中島康子様から、開会の挨拶



「努力は必ずや報われる」と題して、ご講演をいただきました。プロの審判員という僅かな切符を掴む過程での諦めない精神、熱意を語っていただき、その後の長いプロ審判員として継続する厳しさをどう乗り越えて全うさせてきたのか、直向き努力が必ず報われることを熱く我々に教えていただきました。参加者四十名全員が最後まで山崎様の世界に引き込まれ、興味が尽きず、人として親として、何か大事なことを再認識させていただいた大変素晴らしい講演となりました。

と県高P連の状況についての報告をいただきました。続いて、県教育庁生徒指導課副参事の清水謙一様から「学校と保護者が連携したいじめ対策・自殺予防について」をテーマに講演をいただきました。SNSでのトラブルや、子どもからのSOSの受け止め方など分かりやすくご説明いただきました。

後半はスクールカウンセラーの坂井淳子様より「今だからこそつきたい力 困難を乗り越えるレジリエンスとは」と題して、レジリエンスⅡ「辛せ力」を高める方法についてご講演いただきました。自分がされて嬉しい事を考え、自分の強みを発見する事によって、ポジティブ感情が高められるというお話でした。先生の柔らかい話し方がさらにリラククス効果を高め、とても和やかなご講演となりました。

三条・燕・加茂地区 新潟県央工業高校

PTA会長 原田 孝一

三条・燕・加茂地区PTA指導者研修会は、十一月十日(木)、三条市商工会議所会館で、七校三十四名が参加して開催されました。

はじめに、県高P連理事、三条東高校PTA会長の白鳥賢様より本年度の活動概要と令和五年度の活動計画について説明がされました。

続いて、県教育庁生徒指導課指導主事の山田茂様から「学校と保護者が連携したいじめ対策について」との標題で講話をしていただきました。いじめの定義や、昨今急増の傾向にあるSNSのトラブルとその対処法を、具体的な事例をもとに教わりました。

柏崎地区高等学校PTA研修会は、十一月二十二日(火)、柏崎市産業文化会館を会場に、開催されました。

柏崎地区 出雲崎高校

PTA会長 東 直子

地区高P連の長澤弘樹会長からのご挨拶に続き、県高P連の説明をしていただきました。

次に、新潟県教育委員会生徒指導課指導主事の山田茂様から、「学



研修の最後は教育講演会「こどもの自立と大人の関わり」こどもの今と未来へのサポート」として、糸魚川市こどもの主任教育相談員・新潟県スクールの横澤富士子様をお迎えしました。



こどもから相談されるときは、そうせざるを得ない何かがあり、言葉の真の意味と相手の感情もくみ取り、底がつくまで受け止めてこどものところに寄り添う大切さに改めて気付かされました。各校のご協力を得ましてこのような充実した研修の場を設けることができました。ことに改めて感謝申し上げます。

校と保護者が連携したいじめ対策・自殺予防について」と題し、ご講話をいただきました。いじめの定義、現状、SNSでのトラブル等についてご説明いただき、SOSのサインに気付けるように見守ることが重要であることを再確認いたしました。

研究発表として私より出雲崎高校の取組について報告させていただきました。引き続き、一般社団法人妙高高原さわやか協議会の清水久之様より、「私とスキー」という演題でご講演をいただきました。次男・礼留飛選手をはじめ、ジュニア選手の育成に尽力され、夢を持たせる人間教育を大切にされてこられたことなどについて熱く語っていただきました。全体を通して、大変勉強になる研修会となりました。

高田・直江津地区

糸魚川高校

PTA会長 小川 節雄

去る十一月二十二日(金)、高田・直江津地区研修会をホテルハイマートにて開催いたしました。各校から多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。

はじめに、県高P連磯田副会長様からご挨拶と県高P連の活動報告をいただきました。続いて全国高P連大会石川大会の報告を糸魚川高校より行いました。講演では、ベネッセコーポレーションの大森理史様から「令和5年度『大学入試改革の情報整理とポイント』と題して、大学入試の現状についてお話しいただきました。

続いて、講話として県教育庁生徒指導課支援・相談班副参事の高松利治様より「学校と保護者が連携したいじめ対策」

自殺予防対策」について、ご自身の子供のエピソードを交えながらお話しいただきました。

最後に、いじめ見逃しゼロ県民運動サポーターでシンガソングライターのTUNEI様から「笑顔をのどりのく」と題して、ご自身の中学・高校時代のいじめ体験と、そこから立ち直り自分の夢を実現するまでの道のりをお話しいただき、最後に生ライブを披露していただきました。

研修会終了後には、3年ぶりとなる教育懇談会を実施しました。各校の先生方、PTAの皆様と親睦を深めることができ、有意義な機会となりました。来年度以降もフルスペックの研修会が開催できることを願っています。



県高P連高田地区・直江津地区

佐渡地区

羽茂高校

PTA会長 菊地賢一郎

今年度の佐渡地区研修会は、十一月十一日(金)羽茂農村環境改善センターを会場に開催しました。



はじめに、県高P連の本年度の活動計画及び報告を受けた後、県教育庁生徒指導課はじめ対策室指導主事の山田茂様より、いじめ対策等の講話を拝聴

しました。

今年度の研修テーマ「輝く未来への礎」親から始める新しい教育に則り、佐渡中等教育学校様より金融・保険・ライフプランニング等に関する発表があり、その後、子どもに対する親のフォローについて、ワークショップを行いました。

その後、当番校の卒業生でもある野口奈々様より「故郷に新たな職を、新たな雇用を」というテーマで、ご講演をいただきました。ご自身がUターン五年目の今思っている事、佐渡かやの実会会長に至るまでの経緯など、地元愛いっぱいのお話をいただき大変興味深い内容でした。

各校のPTA会長、役員、教職員の皆様のご支援のおかげで、充実した研修会となりました。深く感謝申し上げます。

県高P連総会・安全互助会総会開催予告
六月二日(金)イタリヤ軒で

日時 令和五年六月二日(金)
十二時四十分〜十七時
会場 ホテルイタリヤ軒(新潟市)
例年どおりの日程と内容で実施する予定です。提案発表校は、次の四校です。

- 第一発表 万代高校
- 第二発表 津南中等教育学校
- 第三発表 上越総合技術高校
- 第四発表 村上高校

北信越地区高P連研究大会開催予告
令和五年度は新潟市で開催

期日 令和五年七月十四日(金)・十五日(土)
会場 新潟県民会館
(新潟市中央区一番堀通町三十三)

五年ぶりの地元新潟での大会です。準備や当日スタッフなど各校のPTAの皆様のご協力をよろしく願います。県高P連総会での提案発表校四校のうち、万代高校は壇上发表、他の三校には、北信越地区高P連新潟大会資料で誌上发表をしていただく予定です。

全国高P連大会開催予告
令和五年度は宮城県で開催

期日 令和五年八月二十四日(木)・二十五日(金)
会場 カメイアリーナ仙台
(仙台市太白区富沢一丁目四一)
大会テーマ「豊かな杜につむぐ虹の光」令和五年度の全国大会は、現地参加とオンライン参加のハイブリッド方式により、仙台市にて開催される予定です。具体的な開催方法や参加申込みについては、新年度にお知らせします。

県高P連安全互助会の会費について

昨年六月三日に開催された、県高P連総会において、会費の見直しが承認され、令和五年度から、全日制は年間五百円が五百八十円に、定時制は年間二百五十円が二百九十円に改定されます。九月二十九日付で新潟県教育委員会の承認を受け、正式に新潟県会費値上げが認められました。また、成人年齢引き下げに伴い、生徒(被共済者)が十八歳以上である場合、令和五年度から傷病共済金請求書の書式を一部改め、被共済者と口座名義人が異なる場合の対応として、口座名義人への支払確認チェック欄を追加する予定です。生徒の安全安心な教育活動推進のため、皆様のご理解ご協力宜しく願います。

【調査広報委員会委員】

- ◎新潟工業高校P会長 星野 晃都
- ◎新潟高校P会長 小田 将之
- ◎新潟南高校P会長 梅山 修
- ◎新潟西高校P会長 土田 貴子
- ◎新潟北高校長 小川 正樹
- ◎新潟商業高校長 横堀 正晴
- ◎新潟中等教育学校長 仲野 孝
- ◎新潟向陽高校長 灰野 仁
- ◎委員長 頓所 裕史
- ◎委員長 事務局
- (事務局所在地) 新潟向陽高等学校
新潟市江南区亀田向陽四一三一
TEL〇二五(三八二)三三二一
FAX〇二五(三八二)一八三一

編集後記

新型コロナウイルス発生から三年が経過しようとしています。まだまだ多くの感染者がでておりますが、発生当初の混乱を越え現在はWITHiコロナという新しい生活様式へと変わりつつあります。各校も新しい形で学校行事や部活動を試行錯誤して下さっているものと思います。ウィルス対策をしながらも子供達に成長の機会を与えて下さった皆様に感謝申し上げます。(調査広報委員長)